

明治八年
新錦開再

武州高麗郡大谷澤村は
 最も人々壯男の名へ大河内
 清兵衛として、剣術さへも

よほどとて、強き氣性にて、或る時、近村
 の疾り、何のあやき家内の様子よ
 聞け、盜賊の憐家の木太力借り来り、聲も
 ろともにかつ、千変萬化、手負あつても
 つに賊と、捕縛、同国入間郡越生村
 田嶋惣兵衛といへる者、とめり、とて
 木だち、火おち、せ、土ろ、ほ、お
 金とせ、くも、水に、あり、る

正情堂
 九化誌

石和板



明治八年 錦画新聞 文庫10-8308-1

